

2011-B					
拠出金・基金の名称:		アジア生産性機構(APO)拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: アジア生産性機構(APO)					
【所管官庁担当局課・室名】: 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 専門家の派遣や研修を通じ、アジアの後発開発途上国等の食品の安全性や品質向上等の支援を実施。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	21,507	242	-	1米ドル = 89円	100
平成22年度	23,615	251	-	1米ドル = 94円	100
平成21年度	27,238	264	-	1米ドル = 103円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・アジア地域における食品の生産・流通管理技術向上等支援事業 専門家の派遣や研修を通じ、アジアの後発開発途上国等の食品の安全性や品質向上等を支援するもの。平成23年度には、事業対象2ヶ国(カンボジア、ラオス)に専門家を派遣し、各国生産性本部の能力開発支援等を実施しており、十分な成果が得られると見込まれることから、我が国として高く評価できる。 なお、APOは我が国を含む加盟国が参加する理事会を通じ、合理化、機能強化のための改革を進めている。					